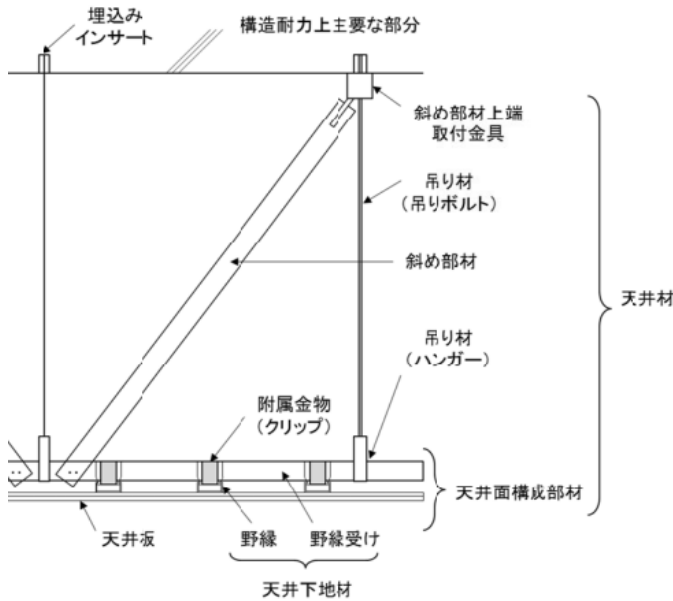


地下街の耐震対策により、地震時の被害軽減及び機能確保を図る（愛知県名古屋市）

事業者：株式会社ユニモール

《天井吊り材補強工事》



在来候補による一般的な吊り天井の構成
(図版出典：建築物における天井脱落対策に係る技術基準の解説)



1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策
最小化するための対策

(2) 交通ネットワーク・ライフラインを維持し、国民経済・生活を支えるための対策

2 予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策

対策名：12 地下街の耐震性向上等に関する対策

主たる施策グループ：1-1) 大規模地震に伴う、住宅・建物・不特定多数が集まる施設等の複合的・大規模倒壊による多数の死傷者の発生



事業名：ユニモール地下街 天井耐震補強工事

- ポイント**
- 老朽化が進んだ地下街において、天井の落下防止対策を実施
 - 地震発生時における人的被害を軽減するとともに、通路路としての機能を確保

地域の概要・課題

「ユニモール地下街」は都心部の駐車需要に対応するために昭和45年に開業した古い建物（地下構造物）であるため、設計時に耐震設計が行われていません。

平成元年に延伸され、幹線道路（桜通線）の地下を名古屋駅から国際センター駅までを結ぶことで歩車分離と地上交通緩和に寄与しており、約5万人/日が訪れる重要な都市施設です。

事業の概要

通路部分は基本的に地下鉄営業時間中開放されており、夜間や冬期においても快適な歩行空間を提供しています。

このように公共性の高い「ユニモール地下街」において、地震発生時の安全性の向上を図るため、地下街等防災推進計画に基づき、天井内部における吊りボルトの増設や落下防止ワイヤーの設置等の天井改修工事を実施しました。

見込まれる効果

天井改修工事により、地震による非構造部材の落下に伴う被害※の軽減や歩行空間としての機能維持等が見込まれます。

※ 東日本大震災等、過去の大地震では、吊り天井が落下する被害が数多く発生しました。

ユニモール地下街位置図



(1) 3 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進

(2) 伝達の高高度化